



平成 27 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲  
( J A S D A Q ・ コード 8704 )  
問合せ先 取締役 新妻 正幸  
( TEL 03-4330-4700 (代表) )

## 訴訟の和解による終結に関するお知らせ

当社及び当社子会社トレイダーズ証券株式会社（以下、「トレイダーズ証券」といいます。）は、トレイダーズ証券における日経 225 先物・オプション取引の元顧客から、平成 25 年 3 月 5 日付で東京地方裁判所に提訴されていた損害賠償請求事件について、本日、原告との間で裁判上の和解が成立しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 訴訟の提起から和解に至るまでの経緯

トレイダーズ証券の元顧客 3 名は、トレイダーズ証券に所属する金融商品仲介業者の所属外務員より勧誘を受け、トレイダーズ証券に口座開設を行って以降、日経 225 先物・オプション取引の売買を行っていましたが、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災後の日経平均株価の急落により元顧客 3 名のうちの 2 名との取引で証拠金を超える損失が発生したことにより、トレイダーズ証券において顧客立替金が発生いたしました。トレイダーズ証券は、平成 23 年 3 月 28 日付にて当該顧客立替金債権を当社へ債権譲渡したため、その後、当社が元顧客 2 名との間で債務弁済契約を締結し、分割支払いの方法により債権の回収を行ってまいりました。

平成 25 年 3 月、上記の元顧客 3 名（以下、「原告」といいます。）より、金融商品仲介業者の所属外務員からの勧誘時の説明義務の履行に問題があったこと及び適合性の原則に反する取引を行わせたこと等により多額の損失を被ったとして、トレイダーズ証券、金融商品仲介業者及びその代表者並びに勧誘を行った所属外務員に対して、日経 225 先物・オプション取引で被った損害金等、合計 37,587 千円の損害賠償請求の提訴があり、また、当社に対しても、債務弁済契約に基づき当社へ支払った金員合計 4,659 千円の返還、ならびに残債務合計 17,585 千円の債務不存在確認を求めて提訴されました。これに対して当社は、原告のうち 2 名に対し、債務弁済契約に基づく未回収債権の弁済を求め、平成 25 年 6 月に反訴を提起してまいりました。

当社及びトレイダーズ証券は、本件訴訟において、これまで裁判所で主張を行ってまいりましたが、証人尋問手続の後に裁判所から和解案の提示を受け、当社において、これまでの裁判所の心証や今後訴訟を継続した場合の訴訟関連費用等の追加支出等を総合的に勘案した結果、早期に本件の解決を図ることが得策であると判断し、原告との間で下記の内容を骨子とする裁判上の和解をすることいたしました。

#### 2. 連結子会社トレイダーズ証券の概要

- (1) 名称：トレイダーズ証券株式会社
- (2) 所在地：東京都港区浜松町一丁目 10 番 14 号
- (3) 代表者の役職・氏名：代表取締役社長 金丸 勲
- (4) 事業内容：金融商品取引業
- (5) 資本金：21 億 9 千 5 百万円

#### 3. 裁判上の和解の年月日

東京地方裁判所 平成 27 年 11 月 10 日

#### 4. 和解の相手方の概要

原告： 트레이ダーズ証券において日経 225 先物・オプション取引を行った元顧客 3 名

#### 5. 和解の主な内容

- ・トレーダーズ証券、金融商品仲介業者及びその代表者並びに所属外務員の被告らは、連帯して、原告 3 名に対し、本件の和解金として、合計金 21,517,790 円を支払う。
- ・当社、金融商品仲介業者及びその代表者並びに所属外務員の被告らは、連帯して、原告 3 名に対し、本件の和解金として、合計金 2,357,122 円を支払う。
- ・原告らは、当社およびトレーダーズ証券に対するその余の請求を放棄する。

#### 6. 今後の見通し

本件和解に伴い、平成 28 年 3 月期に下記の対応を行う予定であります。

##### (1) 連結業績への影響

- ・平成 28 年 3 月期第 2 四半期において、当社及びトレーダーズ証券は本件訴訟の和解金見込額として訴訟和解引当金 24,000 千円を計上しております。

##### (2) 和解金の被告内での損失分担について

- ・本件和解金は、被告らが連帯して支払う内容となっており、当社が和解金全額を支払った場合には、その内部分担を求めて、別途、他の被告らに請求を行う予定です。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (平成 27 年 11 月 4 日公表分) 及び前期連結実績

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (平成 28 年 3 月期)	2,930 百万円	10 百万円	40 百万円	10 百万円
前期連結実績 (平成 27 年 3 月期)	2,340 百万円	▲349 百万円	▲471 百万円	▲367 百万円